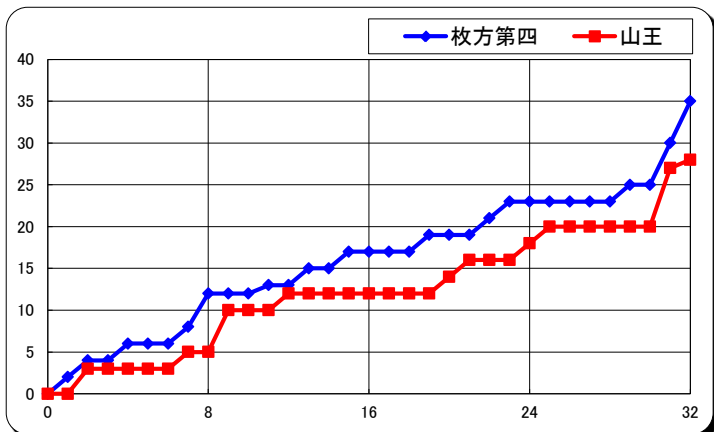




THE 44th ALL ALL JAPAN  
Jr HIGH SCHOOL

【得点経過】



【BOXスコア】

大会名	平成26年度全国中学校体育大会 第44回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	高松市総合体育館																
日時	平成26年8月24日(日) 10:20																
コート	TAコート	第2試合															
カテゴリー	男	男子決勝トーナメント1回戦															
主審	小谷 将夫	(高知)															
副審	加藤 祭	(神奈川)															
Team A		Team B															
枚方第四	35	28 山王															
大阪	○	秋田 ●															
	<table border="1"> <tr><td>12</td><td>1st</td><td>5</td></tr> <tr><td>5</td><td>2nd</td><td>7</td></tr> <tr><td>6</td><td>3rd</td><td>6</td></tr> <tr><td>12</td><td>4th</td><td>10</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	12	1st	5	5	2nd	7	6	3rd	6	12	4th	10		OT		
12	1st	5															
5	2nd	7															
6	3rd	6															
12	4th	10															
	OT																

Team A	枚方第四						
番号	選手名	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	長澤 一真	×	0	0	0	0	4
5	小笠原公一朗	×	4	0	2	0	2
6	村野 克海	×	7	0	3	1	1
7	小西 聖也	×	24	1	7	7	2
8	谷内 亮介	×	0	0	0	0	1
9	家喜 寛太	DNP	0	0	0	0	0
10	粟野 智皓	/	0	0	0	0	0
11	岩元 淳尚	DNP	0	0	0	0	0
12	藤井壮一郎	DNP	0	0	0	0	0
13	末房 太一	DNP	0	0	0	0	0
14	小笠 耀永	DNP	0	0	0	0	0
15	江尻 尚生	DNP	0	0	0	0	0
16	藤井 一稀	DNP	0	0	0	0	0
17	坂本 光平	DNP	0	0	0	0	0
18	初根 崇斗	DNP	0	0	0	0	0
監督	仙波 昇二						0
コーチ	山田 有時						0
合計			35	1	12	8	10

Team B	山王						
番号	選手名	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	広川 汰輝	×	4	0	2	0	4
5	藤島 悠太	×	0	0	0	0	5
6	児玉 海渡	×	7	0	3	1	5
7	大野 湧史	×	5	1	1	0	1
8	大嶋 洸輝	×	10	2	2	0	0
9	新保 優弥	/	0	0	0	0	2
10	佐藤 奨真	/	2	0	1	0	1
11	吹谷 太郎	DNP	0	0	0	0	0
12	三浦駿太郎	DNP	0	0	0	0	0
13	澤木 海里	DNP	0	0	0	0	0
14	太田 弘人	DNP	0	0	0	0	0
15	嵯峨 大輝	DNP	0	0	0	0	0
16	阿部 聖磨	DNP	0	0	0	0	0
17	阿部 竜翔	DNP	0	0	0	0	0
18	佐藤 謙成	DNP	0	0	0	0	0
監督	小納 英之						0
コーチ	齊藤 徳子						0
合計			28	3	9	1	18

【戦評】

決勝トーナメント1回戦、近畿ブロック代表枚方第四と東北ブロック代表山王の一戦。枚方第四はハーフのマンツーマンDef、山王はハーフのゾーンDefでスタート。枚方第四は#7が、続けざまに外角シュートを決めペースをつかむ。山王も#8の3Pで応戦、山王はセンター#5にボールを集め攻撃を展開。しかし、その後は双方ともOffの糸口をつかめず得点が動かない。残り10秒、枚方第四の#7の3Pがバスケットカウントとなり、フリースロー1本も沈め、枚方第四12-5山王で終了。2Q、山王#6のドライブイン、#7の3Pと連続得点で追いつける。枚方第四はドライブを試みるが、山王の高さをなかなか崩せない。山王はセンターにボールを集めてOffの流れをつかもうとするものの、枚方第四17-12山王で前半終了。ロースコアのゲーム展開となる。

後半、山王はオールコートでDefプレッシャーをかける。枚方第四は#7がゲームコントロールをしながら常に得点を狙ってくる。山王のオールコートDefがよく機能し、枚方第四の得点が止まり、枚方第四23-18山王で3Q終了。4Q、立ち上がり山王は#4のゴール下でのリバウンドシュートをねじ込む。一方、枚方第四は#7を中心にドライブを仕掛けるが、思うように得点に結びつかない。山王は残り1分30秒でオールコートでのDefを仕掛ける。山王#8の3Pが決まり、枚方第四はすかさずタイムアウト。残り52秒、枚方第四32-27山王で、山王のボール、#6がフリースロー1本を沈め、枚方第四は再びタイムアウト。枚方第四は、その後ボールコントロールをし、枚方第四35-28山王でゲームセット。

【戦評記入者】

森永 夏樹